

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈2月末現在〉

農業▷10人 教育魅力化▷3人
起業型▷9人 協働型▷8人

農業支援員

まるやま りょうた
丸山 亮太さん

着任：令和4年4月（3年目）
出身：苫小牧市



—農家を志したきっかけを教えてください。

前職は工場勤務で、日勤と夜勤の繰り返しによって、体内リズムが崩れました。実は、ミニトマトが大嫌いで、ミニトマトが出されるたびに残してしまうことが作り手に失礼だなと思い、克服したいと考え、自分で作ろうと思いました。さらに、厚真には親戚がいて、幼少期に山菜取りや栗拾いをした経験もあり、土地に親しみがあったことも農業を志すきっかけとなりました。

—3年間で学んだことや印象に残っていることは？

農業の基礎知識です。「農業とは何か」「農家とは何か」を深く考える機会を得ました。研修先の農家では、町の農業の歴史を教えていただき、大変勉強になりました。特に印象に残っているのは、1年目にお米の生産を経験したことです。種まきから田植え、収穫、精米、そして食べるまで携わることができ、大きな達成感を得ました。また、初めてホウレンソウを育て、収穫・出荷

まで行えた時の喜びは忘れられません。研修先で食べたレタスとトマトが非常においしく、感動したことも印象深い経験です。

—就農する農地は見つかりましたか？

鹿沼で見つけました。軽舞の町営住宅に住んでいた際、農業委員の方に相談したところ、地域の農家さんを紹介していただき、農地探しをサポートしてもらいました。なかなか農地が見つからず大変でしたが、偶然にも住宅付きの農地が見つかり、就農が決まりました。

—どんな農家になりたいですか？今後の目標は？

1年目はホウレンソウとブロッコリー、2、3年目はホウレンソウとミニトマトを生産する予定です。研修先で学んだ農家のように、おいしくて収量量の多い作物が育てられる農家を目指しています。将来的には花き生産にも挑戦したいと考えています。この3年間、多くの方に支えられながら成長することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。3年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



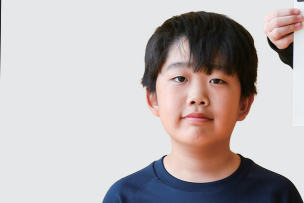
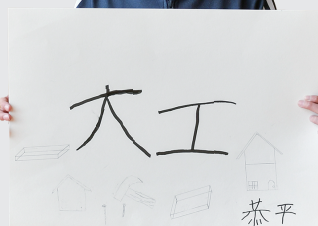
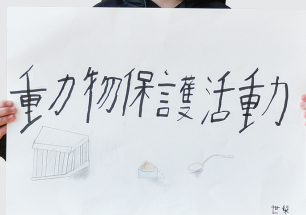
発表します！ 将来の夢



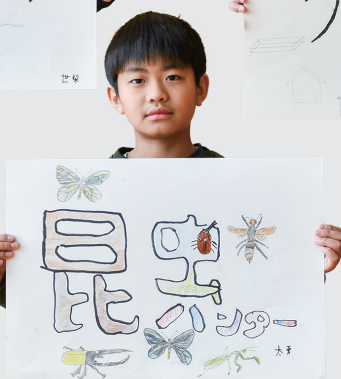
ふじおか せり
藤岡 世梨さん



ほりかわ きょうへい
堀川 恭平さん



ひにし ゆうご
日西 優吾さん



ほし たお
星 太勇さん



ほんま そうじ
本間 総司さん